

西条と松山の水問題に対する6つの提案 回答

平成29年9月

松山市

西条と松山の水問題に対する6つの提案 回答

知事からお示しいただきました

「西条と松山の水問題に対する6つの提案」について、
回答いたします。

愛媛県知事 中村 時広 様

平成29年9月22日

松山市長 野志 克仁

提案 西条、松山両市の水問題を一緒に解決しませんか

西条市は、このたび策定された地下水保全管理計画で、西条の地下水を守るために黒瀬ダムの水利用が最も効果があるとされました。

同じく黒瀬ダムの水を有効活用したい本市といたしましては、互いの水問題の解決に向けて、西条市と一緒に愛媛県と協議を進めたいと考えています。

提案 西条の水文化を将来にわたり守るため県営黒瀬ダムの具体的な活用方を検討しませんか

「西条の水を守る」という意識を共有しながら、黒瀬ダムの水の有効活用について、共に考え、できる限り協力させていただきたいと考えています。

提案 渇水時の西条市優先をルール化しませんか

平成6年の大渇水時にも、黒瀬ダムには一定の水が残されていた経緯などから、西条・松山両市が同時に、深刻な渇水に見舞われる可能性は低いと思慮されますが、自然が相手です。

万一、西条市が渇水状況に陥る場合、地元優先は当然ですので、西条市のご理解をいただきながら、渇水時の具体的な対応に関する協定等を締結したいと考えています。

提案 松山市は通常時にダムからの取水を抑制しませんか

本市は、本年2月に長期的水需給計画を改訂し、必要水量を見直しました。安全で安心な市民生活、そして県都としての将来的なまちづくりのためには、一日あたり最大4万立方メートルの水源が必要です。

他方、西条市も、地下水位の低下や塩水化など、新たに表面化してきた地下水への不安を前に、将来にわたって水文化を守っていくという強い意志をお持ちだと認識しています。

具体的には分水へのご理解をいただいてからになると思いますが、例えば、季節に応じて水量を低減させるなど、通常期の水量の抑制について、精一杯、対応させていただきたいと考えています。

提案 松山市はダム上流域で水源涵養をしませんか

本市では、既に市議会の同意を得て、黒瀬ダム上流域の水源涵養などに使える基金1億円を「松山市水源の森基金」に積み増しています（平成22年7月）。

西条市の分水へのご理解をいただけるのであれば、ダム上流域の涵養林整備はもちろんのこと、それら地域を活性化させる様々な振興策についても、対応させていただきます。

提案 西条市と松山市との交流・連携を考えませんか

すでに、下記のような様々な分野で交流・連携を進めています。

【消防分野】 緊急消防援助隊による広域応援連携訓練を共同で実施

【防災分野】 自主防災組織の連携：西条市へ講師を派遣

【国際交流分野】 日台観光サミット in 四国等関連（台湾電力の父 松木幹一郎氏の紹介等）

【観光分野】 西条方面の修学旅行向けの体験交流型メニューの開発

【教育分野】 小学生の水に関する学習の実施（黒瀬ダム見学含む）

今後もこうした交流・連携を軸に、行政の取り組みに限らず、民間同士の幅広い取り組みが進むよう関係者に働きかけると同時に、必要な支援を行いたいと考えています。